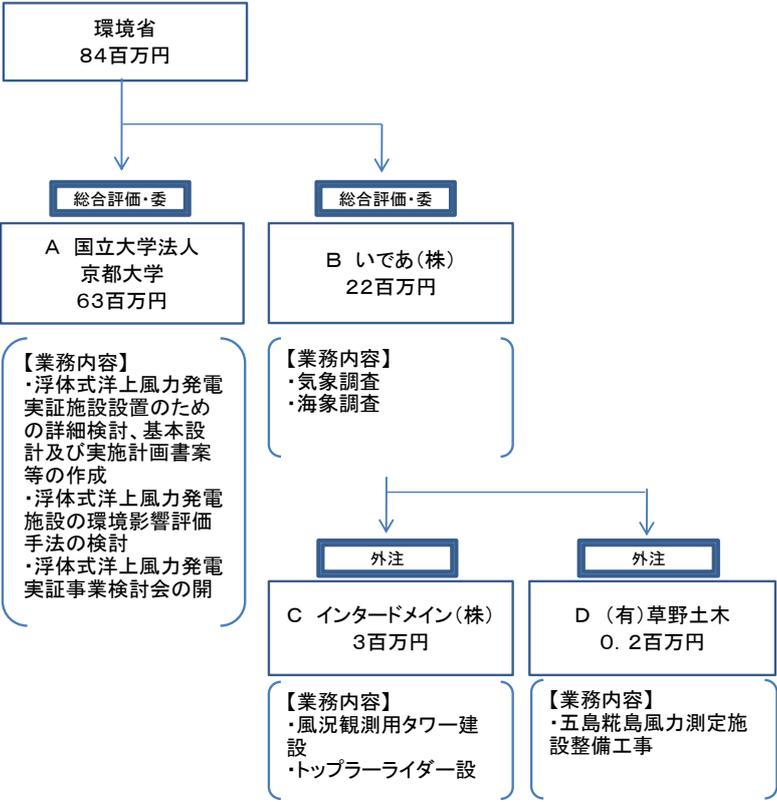


行政事業レビューシート (環境省)

事業名	洋上風力発電実証事業		担当部署	地球環境局		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度限り		担当課室	地球温暖化対策課		調整官 和田篤也			
会計区分	一般会計		施策名	1-2 国内における温室効果ガスの排出抑制					
根拠法令(具体的な条項も記載)	地球温暖化対策の推進に関する法律第3条第3項		関係する計画、通知等	エネルギー基本計画 地球温暖化対策基本法案					
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	<p>洋上風力発電は、①我が国が排他的経済水域世界第6位の海洋国であり、②洋上には陸上に比べて大きな風力発電の導入ポテンシャルを有していること、さらに③洋上は風速が強く、その変動が少なく安定かつ効率的な発電が見込まれるといったことから、有望な再生可能エネルギーとしてその実用化が期待されている。</p> <p>本事業では洋上風力発電のうち、水深の深い海域に設置可能な浮体式洋上風力発電の基本設計、浮体式洋上風力発電システムの導入に関する環境影響評価手法の検討等を実施することにより、今後の実証試験実施に向けて必要な知見を得ることを目的とする。</p>								
事業概要(5行程度以内。別添可)	<p>浮体式洋上風力発電実証事業実施のため、外部有識者、関係省庁等(内閣官房総合海洋政策本部、経済産業省資源エネルギー庁、国土交通省海事局・港湾局)及び関係自治体等からなる「浮体式洋上風力発電実証事業検討会」を設置の上、①地元自治体・漁業関係者等との調整を行い実施海域として長崎県五島市杵島周辺の海域を選定、②基本設計及び実施計画書案等を作成、③環境影響評価手法の検討を行った。また、詳細設計の基礎データを取得するため、選定された候補海域の冬季における気象調査及び海象調査を実施した。</p>								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額(単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	—	—	100	—	—		
		補正予算	—	—	—	—	—		
		繰越し等	—	—	—	—	—		
		計	—	—	100	—	—		
	執行額		—	—	84	—			
執行率(%)		—	—	84%	—				
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値(32年度)	
	浮体式洋上風力発電システムの実用化によるCO ₂ の削減			成果実績	t-CO ₂	—	—	—	17,000
				達成度	%	—	—	—	—
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	実証事業実施海域の選定			活動実績(当初見込み)	箇所	—	—	1	—
								(1)	(—)
単位当たりコスト	84(百万円/箇所)			算出根拠	84百万円/1箇所				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	—	—	—						
	—	—	—						
	—	—	—						
	—	—	—						
	—	—	—						
	計	—	—						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・用途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	22年度限り		
予算監視・効率化チームの所見			
廃止	本事業については、今後の実証試験実施に向けて必要な知見を得るという所期の目的が達成されたため、廃止。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
平成22年度限りで廃止とする。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			



資金の流れ
 (資金の受け取
 り先が何を行っ
 ているかについ
 て補足する)(単
 位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につい
 て記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

A. 国立大学法人京都大学			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
共同研究費		53			
旅費	職員旅費、委員等旅費	3			
一般管理費		1			
諸謝金	研究指導謝金、会議出席謝金	1			
消耗品	調査解析用消耗品	1			
その他	借料及び損料、通信運搬費、印刷製 本費、雑役務費	1			
消費税		3			
計		63	計		0
B. いであ(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	17人延べ1,210時間	6			
借料及び損料	車輜費、備船費、機器損料、土地借 料	5			
外注費		3			
一般管理費		3			
旅費	職員旅費、委員等旅費	1			
消耗品費		2			
その他	雑役務費、通信運搬費、印刷製本費	1			
消費税		1			
計		22	計		0
C. インタードメイン(株)			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	風況観測用タワー建設等	3			
計		3	計		0
D. (有)草野土木			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	五島靴島風力測定施設整備工事	0.2			
計		0.2	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立大学法人京都大学	・浮体式洋上風力発電実証施設設置のための詳細検討、基本設計及び実施計画書案等の作成 ・浮体式洋上風力発電施設の環境影響評価手法の検討 ・浮体式洋上風力発電実証事業検討会の開催	63	1	63%

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	いであ(株)	・気象調査 ・海象調査	22	2	60%

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	インタードメイン(株)	・風況観測用タワー建設 ・トッパーライダー設置	3		

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(有)草野土木	・五島靴島風力測定施設整備工事	0.2		